

製品説明書

商品名

内装用下地材 ボードベース



ボードベースは、日本の伝統城かべ漆喰と現代建築の融合を目指し開発された「漆喰専用の下地処理材」です。

薄塗りでも強度があり、漆喰の大敵でもある下地への吸水を完全にストップする性能があります。速乾中性でアクシミ防止効果も高く、石膏ボードにも直接塗れる抜群の作業性があります。



近畿壁材工業株式会社

656-1521

兵庫県淡路市多賀 2150

電話 0799-85-1147

FAX 0799-85-2030

info@kinkikabezai.com

商品概要

商品名	ボードベース 石膏系中性タイプ
項目	
梱包単位	1 セット 5 kg 【主材 4 kg 配合剤 1 kg】 1 ケース 4 セット入り
施工可能箇所	内装（壁・天井）
標準施工面積	1 mm厚 / 4 m² 0.7 mm厚 / 5 m²
備考	硬化時間: 20℃ 2時間 5℃ 6時間 ※完全乾燥の方が性能が向上します。 上記は目安です。十分乾燥して下さい。 付着強度: 9 kg/cm² ※下地の劣化状況により変わります。 適切な下地処理を行って下さい。

近畿壁材工業株式会社

混練

① 配合材を投入



配合材1kg（液体）を入れます。

② 主材を投入



主材4kg（粉体）を入れます。

③ 水を入れながら混練



混練し適当な硬さに水道水で調整します。

④ 十分に混練完成



少し柔らかめに混練します。
※混練後120分以内にご使用ください。

石膏平ボード下地への施工方法

◇厚付けやパターン漆喰等行う場合

① ジョイント処理



ファイバーテープをボードのつなぎ目部分に張り付けます。

② 城かベシーラー塗布



城かベシーラー3倍液を塗布します。
※塗布なしでも施工は可能ですがより作業性が向上します。

③ Vカット目地埋め



Vカット部分に薄くしごき塗りを行います。
※ジョイント部分の痩せが少なくなります。

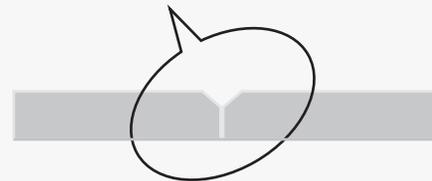
④ ボードベース全面塗り



薄く平滑に全面に塗り付けます。

Point

ジョイント部分は必ずVカットして下さい。紙の無い石膏むき出し部分は城かベシーラーを予め塗布して下さい。



Point

城かベシーラーは通常3倍液でご使用ください。3倍液は、本品1本に同量の水2本の希釈になります。



⑤ 乾燥後城かべ漆喰上塗り

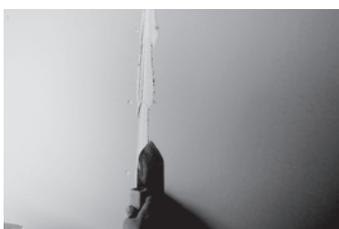


乾燥後漆喰上塗りを行います。

◇漆喰押さえ仕上げを行う場合

厚付けによるパターン仕上げ等は、上記の方法でジョイント部分の凹凸は見えませんが、フラットの押えなどは下地の精度が求められます。Vカット部分に事前に固練りボードベースを充填しその後前面にボードベースを塗ることで解消されます。

① Vカット目地埋め



固練りしたボードベースをVカット部分に事前に充填します。

② ジョイント処理



ファイバーテープをボードジョイント部分に張り付けます。

③ ボードベース全面塗り



薄く平滑に全面に塗り付けます。

Point



漆喰押さえ仕上げを行う場合は、ボードベース乾燥後城かべ中塗り用（砂漆喰）をご使用頂くとより美しく仕上がります。

合板(コンパネ)下地への施工【内装】

①あく止めシーラー塗布



合板下地はあくがでます。あく止めシーラーを塗布する事であくを止めます。

②ジョイント処理



ファイバーテープをボードジョイント部分に張り付けます。

③ボードベース全面塗り



薄く平滑に全面に塗り付けます。

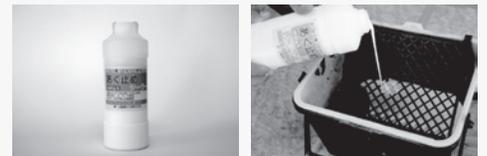
Point

ボードベース乾燥後上塗りは可能ですが、念のためあくが出ていないか確認して下さい。合板の種類によってはあくが出るものもあります。

合板下地は、あくが出やすいためあくを止める必要があります。完全にあくを止める為にあく止めシーラーを2度塗りをお勧めします。1回目が完全に乾燥後(6時間以上)2回目を塗布し2回目乾燥後ボードベースを塗り付けて下さい。

Point

あく止めシーラーは原液でご使用下さい。ご使用前にボトルをよく振って下さい。



珪カル板下地への施工【内装】

①ジョイント処理



ファイバーテープをボードジョイント部分に張り付けます。

②城かベシーラー塗布



城かベシーラー2倍液を塗布します。

③ボードベース全面塗り



薄く平滑に全面に塗り付けます。

④乾燥後城かベ漆喰上塗り



乾燥後漆喰上塗りを行います。

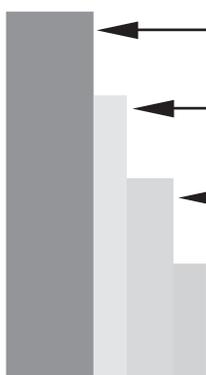
珪カル板下地は、吸水が大きいため吸水を止める必要があります。吸水を止めるため、城かベシーラーの濃度を濃くします。また、ボードが薄いためたわみやゆがみが無い様にしっかりと取り付けます。

Point

珪カル板は吸水が激しい為通常より濃い濃度の2倍液でご使用下さい。



古い漆喰壁の塗替え施工

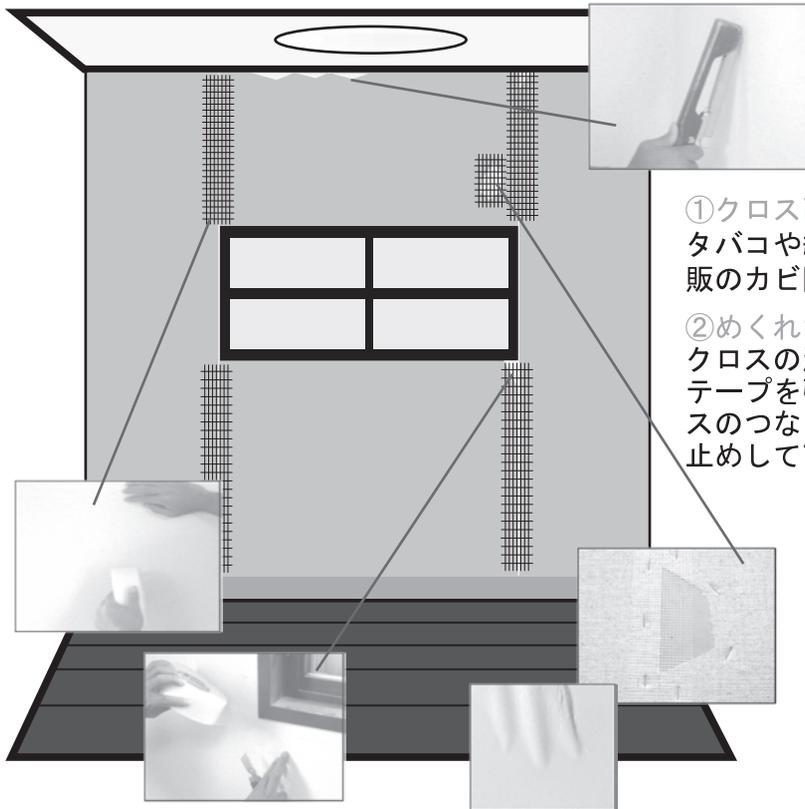


- 古い漆喰
浮き等が無い事を確認します。表面を洗浄しカビ、汚れを除去します。
- あく止めシーラー
亀裂部分にはファイバーテープで補強して全面にあく止めシーラーを塗布します。
- ボード(漆喰)ベース
内装の場合ボードベース、外装の場合漆喰ベースを全面に塗布します。
- 漆喰上塗り

※記載の施工要領は一般的な工法で施工を保障するものではありません。塗替えは下地の状況や表面の漆喰の劣化などの状況により改修方法が変わりますので、施工前にお問合せ下さい。



ビニールクロスへの施工



ビニールクロス下地への施工

下地のゆがみたわみがないか確認してください。下地の割れが原因でビニールクロスが破れている場合は、亀裂の入る危険がある為下地を補修して下さい。

①クロス面の清掃

タバコや線香、カビなどによる汚れは中性洗剤や市販のカビ除去剤で清掃して下さい。

②めくれた部分の補強

クロスが浮きめくれはカッターで除去しファイバーテープを張った後タッカー止めをして下さい。クロスをつなぎ目もファイバーテープで補強後タッカー止めして下さい。

③アク止めシーラー塗布

アク止めシーラーを全面に塗布します。

④ボードベース塗布

アク止めシーラー乾燥後ボードベースを全体に塗布します。ボードベース塗布後クロスが脆弱部分が膨れてくる場合があります。その場合もカッターで切り取り補修して下さい。

⑤漆喰上塗り

ボードベース完全乾燥後漆喰上塗りを行います。

※記載の施工要領は一般的な工法で施工を保障するものではありません。ビニールクロスは下地の状況やクロスの種類、貼ってあるボンドなどの影響を受ける場合があります。状況に応じ下地の張り変えや、全面ネット・タッカー止めなどの対策を行って下さい。

注意事項

- 気温5℃以下の施工は避けて下さい。
- 練り置きは出来ません。混練後すぐにご使用ください。
- 固練りは施工が困難です。やわらかく練ってご使用ください。
- 吸水の激しい下地は城かべシーラーをご使用ください。
- ヒーターなどを利用した急激な乾燥を避けて下さい。
- ボードベースは中性でビス、釘等の金属防錆作用はありません。
- アクのでる下地はアク止めシーラーをご使用ください。
- 漆喰の上塗りは完全乾燥して下さい。
- 施工要領書に記載の漆喰は当社販売漆喰材料であり他社製品は該当しません。
- 記載内容はすべての条件で施工を保障するものではありません。
- ご不明な点は、お気軽にお問合せ下さい。